

# とちぎ女性連協だより

2026.3.31

栃木県女性団体連絡協議会



## お知らせ

★県女性連協定期総会  
日時: 5月 22日(金)  
10:00~11:00  
場所: 302 研修室

## ★編集室★

38年の間、皆様には本当にお世話になりました。役員一同、心より御礼申し上げます。



## 御 礼

本会は栃木県の女性団体相互の連絡を密にし、女性問題の解決を図り、男女共同参画社会の実現を目的として、結成されました。1991年より「とちぎ県民のつどい」を実施し、上野千鶴子氏などが広く県民に示唆を与えてくれました。

毎年多くの会員が学びを求めた県委託事業も、問題解決に向けて前向きに取り組むことが出来ました。しかし、意を同じくしようと、次世代へのリレーを推進してはきたものの、世代間の認識ギャップに直面してきたことが協働を遅らせてきたことは否めません。会員減少の中で、議論を交わし計画を立てたことが思い出されます。まだまだ続けたいという思いもあります。38年間、先人たちからたゆまぬ努力を受け継ぎ、築いた女性連協の歩みを振り返りますと、とちぎ女性センター設立の原動力となったほか、女性を政策決定の場に輩出するべく熱気あふれる活動等も行ってきました。その時々、行政の皆さまには数知れないご支援ご協力をいただきました。

改めまして感謝申し上げます。今後は、栃木県の明るい未来を担う、市民団体や学生団体など多分野で活躍する次世代の女性たちに後を託したいと思います。

ありがとうございました。

会長 川井 正枝

## 長年の御尽力に感謝を込めて

栃木県生活文化スポーツ部

人権男女共同参画課長 細川 智彦



栃木県女性団体連絡協議会の皆様には、1988年の会設立以来長きにわたり女性の地位向上とジェンダー平等の推進に御尽力をいただき深く感謝申し上げますとともに、心から敬意を表します。

この間、男女共同参画社会基本法など主要な法律が次々施行され、女性の社会進出が進む一方でジェンダーにかかわる様々な課題も表層化する中、皆様には地道な啓発活動に加え、県内女性団体の牽引役として法制度や女性問題に関する研修会の実施など、知識の共有と意識向上にも努めてこられました。また、パルティ設置検討への参画をはじめ施策へのジェンダー視点の反映や県民向け講座の共催など、県施策にも数々の御貢献をいただきました。

県では、皆様の活動の成果を次代に引き継ぎ、活動団体の育成やネットワーク構築にも努めながら、ジェンダー平等社会の実現に向けて一層取り組んで参りますので、今後もそれぞれのお立場から御支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 紡がれた歩みに感謝を込めて

参事兼とちぎ男女共同参画センター所長 船木 優子



栃木県女性団体連絡協議会が1988年の設立から長きにわたり、女性の地位向上等に尽力してこられたことに心より感謝と敬意を表します。

昭和、平成、令和へと社会が変化する中、県内の女性たちが共に学び、志を紡ぎ、手を携えて行動してこられたその活動は、本県の男女共同参画推進の大きな力となりました。とりわけ、パルティ設置の原動力となり、各種事業を共に進めてきたことは、パルティの軌跡として深く刻まれています。

当センターとしましても、皆様が紡いだ歩みを次の世代へとつなぎ、ジェンダー平等社会の実現に向けて更に高めていけるよう、各種取組を積極的に推進して参ります。

皆様におかれましては、引き続き、当センターの取組を応援いただきますようお願い申し上げますとともに、今後も、それぞれのお立場で御活躍されますことを心より祈念いたします。

## 「38年の歩みに感謝して（解散に寄せて）」

(公財)とちぎ男女共同参画財団 理事長 渡辺 順一



38年間にわたり、地域の女性たちを結び、互いに支え合いながら活動を続けてこられたことに、深く敬意を表します。多様な立場の方々が集い、思いを語り合い、行動へとつなげてこられた歩みは、本県の女性の地位向上やジェンダー平等を大きく前進させる力となりました。長年にわたり活動を支えてこられた皆さまに、心から感謝申し上げます。社会の変化とともに役割を終え、今回の解散を迎えられることには寂しさもありますが、これまでの取組が確かな成果となったことを示す大切な節目でもあります。築いてこられたつながりや志は、これからも地域の中で息づき、次の世代へと受け継がれていくものと確信しております。

とちぎ男女共同参画財団は、その思いをしっかりと受け止め、性別にとらわれず一人ひとりが個性と能力を発揮できる社会の実現に向け、これからも着実に歩みを進めてまいります。皆さまの長年のご尽力に、改めて深く感謝申し上げます。

## 栃木県女性団体連絡協議会10年間の活動の歩み

自：2016年4月1日～至：2026年5月31日

年	月	日	事業名	内容
2016年	6月	24日	(男女共同参画社会を考える) ～とちぎ県民のつどい～	AM活動団体の発表 (とちぎつばさの会・とちエール、ウイメンズハウスとちぎ) PM式典・講演会 講師：水無田气流氏
		26日	役員・リーダー研修会	国立女性教育会館ワークショップに参加 ～女性の活躍について考える～ 講師：赤松良子氏
	9月	21日	第1回活性化セミナー	～フラットな社会を築くために～ 講師：望月一枝氏
	10月	28日	第2回活性化セミナー	貧困問題を考える 講師：横山幸子氏
2017年	12月	9日	塩谷節子 連携ネットワーク懇談会	災害に対する心構え アドバイザー：芳村佳子氏
		12日	新年懇談会	県・センター・財団・女性議員・会員
2017年	4月	21日	設立30周年記念式典	記念式典及び交流会
		24日	(男女共同参画社会を考える) ～とちぎ県民のつどい～	AM式典・活動団体の発表 (とちぎつばさの会・次世代2011) PM式典・講演会「文化を変えるということ」 講師：江川紹子氏 (ジャーナリスト)
	8月	25日	役員・リーダー研修会	国立女性教育会館 ～つなぐ新たな明日へ～ 講師：山口 香氏 (筑波大学教授)
		22日	第1回活性化セミナー	男女共同参画はなぜ進まないのか? 講師：望月一枝氏 (日大客員研究員)
2018年	11月	1日	第2回活性化セミナー	男女共同参画社会と教育について 講師：鈴木健一氏 (宇共和大客員教授)
		12月	12日	女性連協セミナー
	1月	12日	新年懇談会	県・センター・財団・女性議員連盟・連協
		2月	23日	ネットワーク懇談会
2018年	6月	23日	(男女共同参画社会を考える) ～とちぎ県民のつどい～	AM：映画「折り梅」上映 PM：式典・講演会「自立して生きるとは」松井久子氏 国立女性教育会館 ～変わる勇気、変えるアクション～ 特別講演：国谷裕子氏・とちぎつばさの会海外研修報告 避難所での人権の尊重を考える 講師：青木千恵氏
		8月	31日	役員・リーダー研修会
	9月	18日	第1回活性化セミナー	避難所での人権の尊重を考えて～栃木バージョンを考える 財団アドバイザー：芳村佳子氏 (公財) (とちぎ男女共同参画財団職員)
		10月	18日	第2回活性化セミナー
2019年	1月	11日	新年懇談会	人権と憲法～特に女性の人権をどのように守るのか～ 講師：田野辺隆男氏 (元NHK宇都宮放送局長)
		2月	14日	女性連協セミナー
2019年	6月	22日	(男女共同参画社会を考える) ～とちぎ県民のつどい～	AM地域活動報告：鹿沼アテップの会 PM式典・講演会：アンコンシャスバイアス (無意識の偏見) ～それって本当に正しいの～ 講師：パク・スクッチャ氏 (アパショナータ代表)

年 月 日	事 業 名	内 容
2019年 8月29日	役員・リーダー研修会	国立女性教育会館男女共同参画フォーラム参加 「日本国憲法に女性の権利を」ニコール・A・ゴードン氏 (つばさの会ワークあり)
9月12日	第1回活性化セミナー	～災害時の人権の尊重～ アドバイザー 芳村佳子氏
10月28日	第2回活性化セミナー	ミニ避難所設営体験 アドバイザー 芳村佳子氏
12月3日	連携ネットワーク懇談会	～高齢社会を考える～ 映画「ユキエ」を見て
2020年 1月10日	新年懇談会	県・センター・財団・女性議員・会員との懇談会
2月14日	女性連協セミナー	原発事故の現状と課題 講師：馬奈木巖太郎氏
2020年 9月3日	役員・リーダー研修会	めざそう！誰ひとり取り残さない社会を 講師：熊倉百合子氏 (JICA国際協力推進員)
11月5日	第1回活性化セミナー	大きく社会を変えるためにまず～小さく始めてみませんか 講師：池田伸子氏 (立教大学副総長)
12月10日	第2回活性化セミナー	共に学ぶ未来社会 (リーダー研修会・第1回活性化セミナーで学んだSDGSについて (研修部5名の発表～))
2021年 6月26日	とちぎ県民のつどい (共催)	めざそう！女性の参画で切り開く未来 (女性議員のDVD上映) 講師：三浦まり氏 (上智大学教授)
9月24日	役員・リーダー研修会	コロナの為延期
11月4日	活性化セミナー	わが職場のダイバーシティ&インクルージョン 講師：野沢千晶氏 (NTTドコモ栃木)
11月10～21日	フェスタinパーティ	オンライン&パネル展示 (パーティ全館)
12月16日	役員・リーダー研修会	私たちはジェンダー平等をどこまで達成できたか？ 講師：林陽子氏 国立女性教育会館主催映画上映
2022年 1月12日	ネットワークセミナー	コロナの為中止
2022年 7月9日	とちぎ県民のつどい (共催)	スポーツから考えるジェンダー平等 講師：小笠原悦子氏
9月1日	役員・リーダー研修会	～災害は何故おきる？～ 県出前講座
9月～10月	第1回DVへの意識調査実施	各地域でDVへの意識調査実施 回答者 373名 フェスタinパーティのオンラインで展示で公表
10月14日	第1回グループ・団体活性化セミナー	女性への暴力は社会の問題 被害は身近なところで起きている。 講師：藤平裕子氏 (ウイメンズハウスとちぎ)
11月19日	フェスタinパーティ	館内、及びオンラインパネル展示
11月24日	第2回グループ・団体活性化セミナー	第1回活性化セミナーを受けての意見・感想等のフリートーク
2023年 1月12日	グループ・団体連携ネットワーク懇談会	ジェンダー平等の社会を ～今できることを考えよう 講師：横山幸子氏 (弁護士)
2023年 6月17日	とちぎ県民のつどい (共催)	男性たちの抱える生きづらさと男らしさのこと ～ジェンダーを語る集い～講師：清田隆之氏 (桃山商事代表)
7月27日	役員・リーダー研修会	無くそう思い込み 守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来 講師：白波瀬佐和子氏 (ジェンダー平等アドバイザー評議会議長)
9月～10月	LGBTQへの意識理解度調査	県内各地で調査。回答者538名フェスタinパーティのオンライン展示で報告

年 月 日	事 業 名	内 容
10月27日	グループ・団体活性化セミナー	“皆で語ろう”ジェンダー平等。会員が報告、それぞれの立場で、ジェンダー平等について意見交換。
2024年 1月16日	新年懇談会	県・センター・財団、会員との懇談会
1月27日	ネットワーク懇談会	1～2部にかけて、防災入門セミナーを受講。 講師：平井信行氏 (気象防災アドバイザー)
2024年 6月23日	とちぎ県民のつどい(共催)	アニメのヒーロー・ヒロインとジェンダー 講師：須川亜希子氏 (横浜国立大学教授)
7月18日	役員・リーダー研修会	皆で考えよう私の健康 講師：永倉初枝氏 (日本病院薬剤師会有効会員)
6～9月	調査実施	アンコンシャス・バイアス 県内各地 回答者587名
10月24日	グループ・団体活性化セミナー	アンコンシャス・バイアス“私のあたりまえ”について 講師：廣瀬隆人氏 (栃木県人権施策推進審議会会長)
川井正枝 11月9日	フェスタinパーティ (ネットワーク懇談会)	ジェーン・スーさんと考える“私らしさって何だろう？” 講師：ジェーン・スー氏 (ラジオパーソナリティ)
11月30日	国立女性教育会館 男女共同参画推進フォーラム参加	女性差別撤廃条約から見る日本のジェンダー平等の今 講師：朝倉むつ子氏 (早稲田大学名誉教授)
2025年 1月23日	新年懇談会	県、センター、財団、会員との懇談会
2025年 5月15日	38回定期総会	2026年3月で、栃木県女性団体連絡協議会の解散が決定
6月28日	とちぎ県民のつどい (共催)	県民講座～これからの子供たちへ～講師：太田啓子氏 (弁護士)
7月24日	役員・リーダー研修会	市川房枝記念館・迎賓館での学び
11月15日	フェスタinパーティへ参加 (パーティ30周年)	栃木県優良団体男女共同参画功労者知事表彰を受ける 講演：男女平等はどこまで来たか？ 講師：上野千鶴子氏 (東京大学名誉教授)
2026年 1月23日	新年懇談会	県、センター、財団、会員との懇談会
2026年 5月22日	39回定期総会	38年間の活動終結

- ・2021～2024年新年懇親会中止 (コロナの為) ・オリオン通り国立女性デー啓発活動参加協力
- ・毎年3月には栃木女性連協だより発行・5月には総会開催

### 栃木県女性団体連絡協議会とパーティ 30年間のあゆみ

平成8(1996)年の開館より30年間、パーティは貴協議会と共に歩んでまいりました。男女共同参画推進のためにご支援頂いた貴協議会の活動について、情報誌「パーティ」161号 (令和8年3月発行) で写真と共に特集しておりますので、ぜひご覧下さい。(特集内容より一部を下記にご紹介します。)

- パーティ設置の原動力に：設置のための募金活動、基本構想検討等、パーティ開館の原動力になってくださいました。
- 県民のつどいの開催：多くの女性団体や女性議員が参集し、連帯していくことを宣言。毎年ホールが熱気で包まれました。
- 団体活性化セミナー等研修：ジェンダー平等、地域防災、女性視点での避難所運営等をテーマに研修を重ねてきました。
- 男性のための料理教室：ひまわり部会による丁寧な料理指導により、男性の家事参画を後押しされてきました。
- 憩いの場、ショップ：笑顔あふれる接客で、生産女性と来館者を繋いでこられました。



～たくさんの感謝を込めて～ (公財)とちぎ男女共同参画財団

2025年度

5月15日(木) 10:00～ パルティ会議室

## 第38回定期総会開催

事業報告及び専門部会報告、決算及び監査報告、次年度の事業報告、及び予算案が報告され、承認されました。その後、女性団体連絡協議会の今後の継続について、川井会長より会の解散について説明がありました。「近年、当会の所属団体は高齢化により年々減少し、事業を継続していく中で様々な課題を抱えています。特に役員のなり手不足、イベント等への集客力は深刻な状況を期し、団体継続を阻む大きな原因となっています。役員会等で協議を重ねた結果、このような状況下での存続は難しいとの結論に達し、今年度をもって解散を決定しました。総会可決。

2025年度

6月28日(土) 13:30～ パルティホール

## 男女共同参画週間 “県民講座”これからのこどもたちへ

～男らしさ、女らしさにとらわれない子育て～ 講師；弁護士 太田啓子氏  
 テーマ：性差別を無くすために、子ども時代からの教育が必須では？  
 ：特に男の子に性差別・性暴力についてどう教えるか



○子育て・教育で大人から子どもへ伝えるべきこと  
 「らしさ」の呪い・ジェンダーバイアスから自由に生きてほしい  
 その差別を受けないマジョリティの属性を持っている時、マジョリティとしての特権を持っていることを自覚し、マジョリティとしての性差別・性暴力に積極的に抗ってほしい。  
 このことは、高2、中2の男子を持つ講師の我が子に対する思いにも聞こえた。また、自身がマジョリティ側に立つと、すべての門に自動ドアがついていて前に立つだけで開けてくれるが、いざマイノリティ側に立つと、門を開けるカギが必要だったり常に困難を伴うとの話が印象的でした。  
 今回の講演は、これまでの男女平等ではなく、男性の生き方を探ったものでもあり、男女平等は片方だけの問題ではない、本当の意味での平等を追求する必要がある。互いの立場から学びを深めることが必要と学んだ。

2025年度

11月15日(土) 10:00～ パルティホール

## パルティ開館30周年記念事業 (栃木県優良団体男女共同参画功労者知事表彰受賞)

フェスタinパルティは今年30年を迎えた。今回のフェスタinパルティは午前と午後に分けた発表と講演会が行われた。  
 午前の部の男女共同参画分野で、女性団体連絡協議会は38年間にわたって男女共同参画の推進を支えてきた団体として、県優良団体表彰を受賞した。(同分野での団体表彰は初めてである)その後県の今後の取り組みとしての団体活動の在り方も紹介された。今後の活動に期待を・・・。  
 その後には当団体が学びの講師として、パルティ事業に何度かお迎えした(現東京大学名誉教授上野千鶴子氏の講演が行われた。男女共同参画推進の歩みを振り返り、次世代につなげていく重要性を確認した私たちは、生ある限り活動の応援を誓った。



第1回会員研修

2025年7月24日 バス研修

於：市川房枝記念会女性と政治センター

## 市川房枝記念館・迎賓館赤坂離宮

最後の研修旅行としてふさわしい内容となるよう検討した結果、7月24日、見学先は市川房江記念館と赤坂迎賓館になりました。中型バスでなく大型バスとしたためか、45名もの参加者があり、県内各地から早朝乗車したにも関わらず賑やかな研修旅行となりました。

渋谷区代々木にある同センターは、1946年に婦選会館として開館、平和と平等な社会、女性の政治参加を促進するための活動と、市川房枝と女性参政権獲得の歴史を展示しています。

初めに林理事長から、婦人参政権獲得への苦難の道のりと、市川房枝をはじめ平塚らいてうら活動家の関係を絡め、房枝の歩んできた道と彼女の一生のテーマである男女平等、女性の地位向上について話を伺いました。

展示室は年譜・活動・生活に分けられており、市川房枝が婦人参政権獲得に至るまでの活動や苦勞、どう乗り越えていったかを時代背景と共に理解しやすく、また、彼女の衣類や文具を始め、身の周りの様々な物が展示され人柄が身近に感じられました(サクマドロップスの缶に思わず笑いが)。入口に掲示された市川房枝の名言「権利の上に眠るな」を心に刻み会館を後にしました。

昼食をとった後、もう一つの目的地赤坂迎賓館は、予約が難しいため取れた時は役員一同ホッとしました。バスを降り蝉時雨の中、ヨーロッパの宮殿を思わせる迎賓館に到着。屋根の鎧武者飾り、日本の工芸の粋を集めた七宝焼の額や、羽衣を描いた天井など和のエッセンスを取り入れた内装。しかも華やかなフランス製のシャンデリアと調和して不思議な調和と美しさに皆圧倒されました。

帰りの車中で、市川房枝ら先輩諸姉が、苦勞しながら築いた男女同権の上に惰眠を貪らず、私たちも、ジェンダーギャップ指数の向上を目指し、何らかの形で活動を続けようと話し合い、最後の研修旅行を終了。(市川房枝記念館林理事長と記念写真)



(迎賓館赤坂離宮)

